

【NEWS RELEASE】

2019年3月28日

各 位

株式会社三井住友銀行

日本リート投資法人に「SMBC環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、日本リート投資法人（執行役員：杉田 俊夫）に「SMBC環境配慮評価融資」を実施いたしました。

「SMBC環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎 正弘）が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった、日本リート投資法人に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境負荷の把握の状況」「環境マネジメント」「環境保全対策の取組の状況」などの面で高い水準であると判断され、資産運用において良好な環境配慮を実施されている、「A」の評価となりました。

特に、今回の評価に当たっては、以下の点等が高く評価されました。

保有不動産におけるエネルギー使用量やCO2排出量、水使用量、廃棄物排出量等の環境負荷の実績値を網羅的に把握し、その増減要因を精緻に分析しておられる点

保有不動産における継続的な環境負荷削減の取組を推進するため、サステナビリティ推進会議において四半期毎に予実管理を実施するほか、省エネ対策に特化した省エネ委員会を設置して建物のエネルギー使用状況の目標管理を行い、必要な省エネ施策について外部の環境専門家からアドバイスを受けることを定めておられる点

保有不動産のラ・ベリテ AKASAKA では、全テナントとグリーンリース契約を締結し、照明設備のLED化や空調設備の効率化等の省エネ改修を積極的に実施するとともに、建物の受電契約を水力発電のみの契約に変更し、再生可能エネルギーの活用を促進しておられる点

三井住友銀行では、REITに対して「SMBC環境配慮評価融資」を取り組むことで、本業を通じ、環境に配慮した社会の実現に貢献をしております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。